

令和元年度 第1回苫小牧市民文化芸術審議会（書面会議） 会議概要

基準日：令和2年3月23日（月）

審議委員：千葉会長、坂井副会長、浅岡委員、石川委員、伊藤委員、佐藤委員、
下川原委員、藤沢委員、藤本委員、宮脇委員 計10名

※本審議会については、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、参集
しての会議を中止し、書面にて会議を開催いたしました。

1 議 事

(1)令和元年度苫小牧市民文化芸術振興助成事業の報告

令和元年度助成事業のうち、主に助成金が中止、減額となった事業について事務局より報告。また、助成事業のうち、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から一部変更（事業の一部を中止）して実施した事業について要綱に定めがないため、内容変更と対象経費の取扱いについて審議（事務局案：事業開催のために対象経費として認めていた経費のうちすでに支払ってしまっている経費は、実際に実施した場合と同様に対象経費として認める）。

<意見等（整理・要約）>

	意見等	意見等に対する事務局の回答等
1	コロナの関係で致し方ない。事務局提案でよい。	事務局案をご了承いただきありがとうございます。

<結果> 委員10名中、承認10名で、承認される

(2)令和2年度苫小牧市民文化芸術振興助成事業の審議

助成事業の申請24件について、事務局より説明。

<意見等（整理・要約）>

	意見等	意見等に対する事務局の回答等
1	宗教施設利用は微妙な問題がある。助成しない事業としてあげている「宗教的な普及宣伝活動を目的とする事業」に抵触する可能性が大きい。演奏会となると、宗教施設の宣伝効果は生まれることになるし、個人的にはそうした会場に足を運びたくない。	宗教施設の利用については、苫小牧市民文化芸術振興助成金交付要綱の第3条第2項において、(3)「政治的又は宗教的な普及宣伝活動を目的とする事業」については助成をしないとしているため、交付要綱に抵触しないか留意しなければならないものと考えております。

		<p>今回の申請は、どちらの事業も会場を苫小牧弥生教会としており、会場の選定理由は、会場設置のパイプオルガンを使用することができ、会場内の音の響きが独特で芸術的に良いという視点によるもので、市内に同様な施設がないため、主催者側が会場に依頼し借りているものであり、宗教的な普及宣伝活動を目的としたものではないものと考えております。また、同教会を会場として演奏会が開催可能であるという宣伝効果等はない訳ではありませんが、その効果は宗教的な普及宣伝活動に直接寄与しないものと考えます。</p> <p>宗教施設という点ではご不快に思われる方もいらっしゃると思いますが、文化芸術の観点から市内に同様の施設がなく、また、実施に当たっては、交付要綱の内容について主催者に十分説明の上、事務局でも当日確認するなど留意して参りますので、会場の使用についてご理解願います。</p>
2	<p>今後、新型コロナウイルスの対応で、開催が流動的になると考えられる。審議会として、基本的な考え方を示す必要があると考える。</p>	<p>新型コロナウイルスの関連では、議事1において、事業の一部を中止とした場合の事業内容の承認と対象経費について、要綱の取り決めがないため、令和元年度の申請に限定し議事としておりますが、令和2年度の事業においても、現時点で新型コロナウイルスの感染拡大の終息が見込めないため、新型コロナウイルスに関連して要綱に定めている内容以外の事態が起こる場合も想定されます。</p> <p>中止となる場合、多くの事業は公演や展示のみを予定しており、全て中止となることから、苫小牧市民文化芸術振興助成金交付要綱の第6条第2項「助成金の決定通知後、天災その他やむを得ない事情により、事業ができなくなった場合は、助成対象経費の25%を助成するものとする。ただし、助成金交付決定金額の2分の1を限度とする。」が適用に</p>

		<p>なるものと考えます。</p> <p>一部中止とする場合も想定されますが、公演前などにワークショップなどの事業を開催するもの（一部中止となりそうな事業）は、申請内容をみると年度当初にはないものと思われま。令和2年度事業を実施する中で、議事1の令和元年度承認内容と同様に、やむを得ない状況により一部中止とする場合がございます。事務局としては、議事1同様の内容は認める方向で事務処理を進めて参りたいと考えますが、新型コロナウイルスの状況も刻々と変わり、一部中止の場合でも状況が大きく違う、また、内容を大幅に変更するなど判断し難い場合も考えられますので、新型コロナウイルス関連で議事とする事項がある場合は、本審議会に改めてお諮りしたいと考えております</p>
3	<p>アーティスト1組 400,000 円は、他の申請者の謝金に比べて多額であり、不信を抱かざるを得ない。</p>	<p>令和元年度事業内定時（昨年度審議会で承認）の同事業の謝金は、1組 20 万円が最高額でございました。予算計上の謝金について、主催者より、以下のとおり回答がありましたので、以下の内容をご確認いただきご了承いただきたいと思います。</p> <p>本事業は、第1回よりプロのシンガーソングライターを招聘しており、大変好評であることや、将来的に助成金を使わず自立し開催を目指すために、リピーターの集客や口コミにも期待し、来年度も同様に招聘したいと考えている。謝金については、今までは知人の伝手もあり安価で来ていただいていたが、当初より有名となり、随行等も含め謝礼 40 万円としてほしいと言われている。今後、当初の額を希望し値下げの交渉を行うが、現段階では交渉前の金額でご了承いただきたい。</p>

<結果> 委員10名中、承認10名で、承認される。